

10月1日は浄化槽の日

下水道課 ☎(54)3521

浄化槽は、下水道区域や農業集落排水処理区域以外の地域で、トイレや台所などの汚水を微生物の働きできれいにして排水する水質浄化のための施設で、浄化センターや農業集落排水処理施設を小型にしたものです。

浄化槽は高額で設置工事も比較的長かかります。そのため設置した浄化槽に負担をかけず長く使うために、次のことに心掛けてください。

日常生活でできること

- トイレを使用するときは、必ずトイレトペーパーを使ってください。
- 台所から油脂類や野菜くずは流さないでください。

○トイレ洗剤は適量を使用してください（浄化槽内の微生物が死んでしまいます）。

○ブロー（モーター）の電源は切らないでください（浄化槽に空気を送る必要があります）。

○許可を受けた専門業者による定期的な保守点検・清掃が必要です。

法定検査を忘れずに

浄化槽を設置すると、浄化槽法に基づいた許可業者が行う定期的な保守点検・清掃と併せて県知事が指定する検査機関の検査が必要です。
■設置後の水質検査（7条検査）
 設置後、3カ月から5カ月

以内に設置工事が適切に行われ、浄化槽が正常に機能しているか検査します（状況によって業者を指導します）。

■定期検査（11条検査）
 浄化槽の保守点検・清掃が適正に行われ、浄化槽の機能が正常に維持されているかを検査します（状況によってアドバイスが受けられます）。

合併処理浄化槽補助金の活用を（申請は工事前）

市では、公共用水域の水質浄化のため、自己の住宅に合併処理浄化槽を設置する場合、予算の範囲内で補助金を交付しています。補助金額は下表のとおりです。

- 新築や建て替えに伴い新たに浄化槽を設置する場合
 - 単独処理浄化槽や汲取り便槽から転換する場合
- ※詳しくは、問い合わせください

放流先のない場合の処理装置を設置する場合

合併処理浄化槽を設置する際に放流先がない場合、処理装置を設置する場合にも補助金を交付します。
 補助金の額は、設置費用の3分の1以内で10万円を限度とします。

■単独処理浄化槽とは

トイレの排水のみを処理する浄化槽。トイレ以外の排水はそのまま放流されるため、平成13年以後は製造が中止されています。

■合併処理浄化槽とは

雨水以外の家庭からの排水（台所、浴室、トイレなど）を処理し放流するため、水質浄化のためには効果的な浄化槽です。

■合併処理浄化槽補助金額一覧

区分	性能	補助限度額（単位：円）		
		5人槽	7人槽	10人槽
新設	高度型	444,000	486,000	576,000
転換 (家屋の建て替えに伴う転換を除く)	単独浄化槽からの転換	512,000	594,000	728,000
	高度型	624,000	666,000	756,000
	汲み取りからの転換	432,000	514,000	648,000
	高度型	544,000	586,000	676,000

※高度型の地域は、常陸利根川・横利根川・利根川に囲まれた地域と黒部川流域です。それ以外の地域は通常型です

液状化対策事業説明会を開催

岡都市整備課 ☎(50)1232

市では液状化対策事業の説明会を地区ごとに行っています。対象地区の人は参加ください。

小見川市街地、北佐原・津宮新田地区

- 期日 10月13日(祝)
- 場所・時間・対象地区
- ◇北佐原農村広場いこいの家(北佐原小学校そば)
9時～10時30分 津宮新田、篠原新田、向津、砂場、荒川、筈島、長島、中洲、野間谷原、石納
- ◇小見川B&G海洋センター
13時～14時30分 新開町
15時～16時30分 小見川団地（住金団地）

小泉復興大臣政務官が視察に訪れました

岡企画政策課 ☎(50)1206



パネルを用いて復旧状況を説明（写真は水郷町）

小泉進次郎復興大臣政務官が8月27日に、東日本大震災の被災地である香取市を訪れました。政務官として初めて千葉県を訪れ、同じく被災地である山武市を訪問後、本市へ。市長室で市長と意見交換後、液状化被災地区、岩ヶ崎災害公営住宅、伊能忠敬記念館・旧宅、歴史的町並みの商店などの復興状況を視察しました。

市長は「香取市は液状化被害などが大きく、復興はこれから」と述べ、小泉政務官は「震災の教訓を後世に残さなくてはならない。今後は想定外というのは通用しない」との感想のほか「真の地方活性化とは“自分たちのまちは自分たちでつくる”こと、国はそれを後押しすること」と話しました。

ごみのごと かんガエル

岡環境安全課 ☎(50)1248

こども服を回収しています

市では、4月からリユース（再利用）による資源の有効活用とごみの減量、子育て世代の経済的負担の軽減を目的とした「こども服リユース事業（キッズリユースかとり）」を実施しています。年間を通じて不用になったこども服の回収を行い、11月23日(祝)に開催される「ふるさとフェスタさわら2014」にて、こども服の無料譲渡会を開催し、必要とされる人へ配布します。



現在まで約1,700着のこども服が集まっています。回収量が増えたら譲渡会開催数の増加など事業を充実することができますので、ご協力をお願いします。

■回収場所 子育て支援課前ボックス、環境安全課、小見川支所1階ロビー（エレベーター脇ボックス）

■回収品目 130cmまでのTシャツ、ポロシャツ、トレーナー、セーターなどの上着、防寒具、

スカート、ズボンなど

■注意点

- 必ず洗濯してから出してください
- 名前が書いてあるものはマジックなどで塗りつぶしてから出してください
- 破れや大きなシミのあるもの、洗濯していないもの、下着類、靴下、小物（靴、かばんなど）は回収できません

ふるさとフェスタさわらでのフリーマーケットは実施を見送ります

例年「ふるさとフェスタさわら」にてフリーマーケットを実施し、10月に出店者の募集を行っていましたが、今年度は会場周辺工事の影響により、出店者の搬入路などが確保できないことから実施を見送ることとします。来年度は実施する予定です。